

## 第32回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会



## 第13回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道形競技会

# 新入会員紹介

氏名	支部名	施術所名
加来 佑樹	中村	TAiSEiKAN 接骨院

## Photo gallery



11月19日(日)公益社団法人日本柔道整復師会主催にて「柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、参加者相互の新睦並びに、柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的とする」という趣旨の下、柔道の総本山「講道館」において第32回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会・第13回文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道形競技会が開催された。(後援:スポーツ庁、厚生労働省、東京都、公益財団法人講道館、公益財団法人全日本柔道連盟、公益財団法人東京都柔道連盟、産経新聞)

全国少年柔道大会は、学年別5人団体戦にて各都道府県の代表48チーム(東京都は2チーム出場)によるトーナメント方式により行われた。

愛知県代表チームは、先鋒4年生(女子)長谷川 琴葉乃選手(瀬戸陶原道場)・次鋒5年生(女子)安江 美乃選手(羽田野道場)・中堅5年生(男子)竹内 秀人選手(NPO法人大森柔道クラブ)・副将6年生(男子)井手 煌選手(大石道場)・大将6年生(男子)吉田 空雅選手(大石道場)・監督 中村太7段、コーチ 夫馬 喜久治7段が参加した。

初戦は、第4試合会場にて4試合目に青森県と対戦し、先鋒長谷川選手が、開始早々見事な大外刈を掛け一本勝ちで流れを作ったが、次鋒、中堅が惜しくも負け、副将、大将が善戦するも引き分けとなり、1-2にて1回戦敗退の結果となった。

少年柔道大会結果は次の通り優勝 宮崎県 準優勝 広島県 第3位 千葉県 第3位 奈良県

少年大会終了後、全国少年柔道形競技会が開催された。

競技方法は、まず各都道府県の代表48チームを4ブロックに分けて予選を行い上位2組が決勝戦に進出でき、決勝戦は計8組で行われ順位が決定する。

本会から 取:吉田 唯良選手(山北道場)、受:大掛 凌選手(山北道場)、監督 榎本 好根7段が県代表として参加した。

形競技会予選は、Cブロック6番目の演技順にて行われ大阪府につぐ第2位にて予選を突破し、決勝への出場が決定したが、8位の結果となった。

少年柔道形競技会結果は次の通り 優勝 兵庫県 準優勝 東京都 第3位 大阪府。(柔道部長 中村 太)

## 日本赤十字社「NHK 海外たすけあい」街頭募金活動

12月16日(土)「日本赤十字社『NHK 海外たすけあい』街頭募金活動」を石川 益郎事業部長・樋渡 啓祐事業部員にて行った。

午前11時、「名古屋駅前交番」前に集合。本会の担当は名古屋駅西口であり、家電量販店前の交差点信号待ちの方々ターゲット。「こちらは日本赤十字社です。NHK 海外たすけあい募金にご協力をおねがいしま〜す」のフレーズを発し募金活動を1時間半実施した。

愛知県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団の存在も、街ゆく人々にアピールできたと感じた。

(事業部 樋渡 啓祐)



YouTube「日本柔道整復師会チャンネル」にて、試合の動画公開中。  
左のQRコードから視聴できます。